

普及項目	担い手
漁業種類等	ノリ養殖業
対象魚類	ノリ
対象海域	熊本有明海

## 有明地区漁業士会による「ノリ出前講座」の開催

県北広域本部水産課・柳田美登里

### 【背景・目的・目標（指標）】

有明地区漁業士会（以下、「漁業士会」という。）では、漁業・漁村地域を身近に感じてもらい、漁業への理解を深めてもらうことを目的として、平成10年から令和元年まで子供達を対象とした地びき網漁業体験教室やノリ手すき体験教室を実施し、水産課は事務局として開催支援を行ってきたが、令和2年からは、新型コロナウイルス感染症の蔓延により体験教室の中止を余儀なくされた。

しかし、コロナ禍でも「ノリのPRや子供達にノリのおいしさを知ってもらう活動は重要」との意見が漁業士会役員会で上がったことから、今年度は小学校での出前講座とノリの配布活動を実施した。

### 【普及の内容・特徴】

#### 1 事前協議

（1）日 時：令和4年（2022年）8月15日（月）14時～15時

（2）参加者：益城町教育委員会教育長他職員2名  
漁業士会員1名、事務局1名

（3）内 容：対象選定にあたり、漁業士から「熊本地震で大きな被害を受けた益城町の小学校を対象としてはどうか。」との提案があったため、益城町教育委員会に活動趣旨の説明と管内小学校での出前講座開催について協力を依頼した。

#### 2 出前講座「おいしいノリができるまで」

（1）日 時：令和4年（2022年）10月12日（水）8時40分～11時15分

（2）場 所：益城町立広安西小学校

（3）参加者：児童（5年生3クラス）118名、教員4名、益城町職員2名  
（講師）漁業士会会員2名、事務局1名

（4）内 容：教育委員会からの働きかけにより、広安西小学校5年生の社会科「地域の水産業について」の授業での出前講座の開催が実現した。当日は「おいしいノリができるまで」と題して漁業士が特別講師となり、3クラス全てを対象に授業を行った。併せて、ノリ養殖業を身近に感じてもらう機会を作るため、益城町の全ての小学校に焼ノリとチラシを配布した。

### 【成果・活用】

教育委員会に協力を依頼したことで、町内の全小学校へのノリ配布が実現し、広くPRすることができた。また、ノリ漁師である漁業士自らが講師となり授業を行い、児童の質問にも丁寧に答えたことで、漁師や漁業の存在を身近に感じてもらうことができ、漁業への関心を高めることに繋がった。更に、本取組は、町の広報誌にも取り上げられ、一般の方にも漁業士会の取組みを知ってもらうことができた。

【達成度自己評価】

4 目標（指標）はほぼ達成できた（76～100%）



図 1：授業の様子



図 2：休み時間に質問する児童達



3：配布した焼きのり（半切6枚入り）  
地元のノリ販売業者の協力で県産の  
初摘みノリを入手し加工



図 4：配布したチラシ

小学校名	児童数（名）
飯野小学校	235
広安小学校	776
津森小学校	117
益城中央小学校	435
広安西小学校	715
合計	2,278

図 5：焼きノリを配布した小学校と  
児童数

いろんな仕事があるんだね

広安西小社会科見学&特別授業

広安西小で、社会科見学と特別授業が行われました。  
10月6日、4年生が町浄化センターを訪問しました。家庭などから出た排水が、下水処理場できれいな水になり川に放流される仕組みについて役場職員から説明を受けた後、処理場内を見学。「働いている人たちは臭いが気にならないのですか」(回答:「慣れます」)など、気になることを質問していました。  
10月12日には5年生が、県漁業士会から招いた講師にノリができるまでを学びました。児童たちは、実際に使用している道具などを使用しての説明に興味津々で、熱心にメモを取っていました。質問の時間には、「ムキムキな人が多いですか」(回答:「道具が進化し、昔より減りました」)など、子どもらしい質問が飛び出しました。

写真説明/1 下水処理の流れを見学 2 ノリができるまでの説明を熱心に聞く児童たち 3 タブレット端末で漁業道具を撮影



図 6：益城町広報（令和4年11月）